

みなさんが協力してくれているエコチル調査でわかったことを紹介していきます!

今回のテーマは、アレルギー性の鼻炎と結膜炎です。

アレルギー性鼻炎・アレルギー性結膜炎って?

スギなどの植物の花粉や、ホコリが鼻や目に入ると、くしゃみ、鼻水が出たり、鼻づまりが起きたりする病気を「アレルギー性鼻炎」といいます。

花粉やホコリで目がかゆくなったり、涙が出たり、目が赤くなったりする病気を「アレルギー性結膜炎」といいます。

とくに植物の花粉が原因でアレルギー性鼻炎や結膜炎になる病気を「花粉症」といいます。



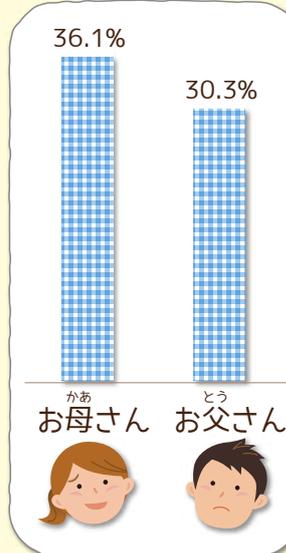
アレルギー性の鼻炎や結膜炎になった人はどれくらいいるの?

下の図は、エコチル調査に参加している子どもたちとお母さん、お父さんのうち、アレルギー性の鼻炎や結膜炎になった人がどれくらいいるかを調べた結果です。

お医者さんから、アレルギー性の鼻炎や結膜炎があると診断された子どもたちは、1歳の時は1.1% (100人に1人)、2歳の時は4.0% (25人に1人)、3歳の時には4.5% (22人に1人) いました。



大きくなるにつれて  
少しずつ増えていきますね。



お母さんは36.1%、お父さんは30.3%(およそ3人に1人)の人に、花粉症やアレルギー性鼻炎があることがわかりました。

子どもよりも  
ずっと多いですね。

アレルギーの病気にかかりやすいかどうかは、住んでいる国や地域、生活のしかたやその人の体質によって違います。エコチル調査では、どんな人が病気になりやすいかを調べる研究をたくさんしています。



かぜ、インフルエンザ、新型コロナウイルスとアレルギー性鼻炎は、くしゃみや鼻水が出るところが似ていますね。  
自分ではわかりにくいので、お医者さんにみてもらいましょう。

